

令和3年度事業計画書

令和3年度事業計画

本会の目的達成のため、使用船舶4隻を効率的に活用し、名古屋市、東海市、知多市、弥富市及び飛島村地先水面とこれに接続する港湾区域内河川の水面清掃を行うとともに、航行船舶の安全及び港内の美化、水面の汚濁防止及び公衆衛生の向上を図る。また、環境に対する意識向上のための啓蒙活動を行う。事業内容については、以下のとおりである。

- (1) 名古屋港港湾区域内（河川区域を除く）を清掃船「清港丸」及び「あゆち」によって巡回清掃を行う。航行船舶の障害となる大型漂流物等の除去については、大型漂流物回収船「そうかい」が行い、航行船舶の安全を図る。また、堀川、新堀川及び中川運河の河川区域の巡回清掃については清掃船「きよかわ」で行う。
- (2) 港湾、河川において大量の浮遊物、へい死魚及び原因不明の流出油が発生した場合は、その回収に向け各船舶と連携を図りながら迅速に対応し、航行船舶の安全、港内の美化及び公衆衛生の向上を図る。
- (3) 小学児童等を対象に港湾及び河川の美化と公衆衛生の向上のため、清掃船による清掃作業見学会を開催し、清掃作業の実演と航行船舶の安全及び海洋生物に与える影響についての説明を行い、環境に対する意識の向上を図る。
- (4) 秋季に7日間の日程で河川隣接地域の木材業者（名古屋水上交通組合）との共催で、堀川、新堀川及び中川運河において、水面に浮遊する塵芥、汚物等を清掃船「きよかわ」を使用して総延長約30kmにわたっての河川大清掃を行う。また、清掃の実施にあわせ、一般市民に対しポスター及び横断幕にて当該清掃の周知を行うとともに、標語入りのタオルや本会の“あらまし”を配布し、港湾及び河川へのごみの投捨防止を促し、港湾及び河川の美化に対する意識の高揚を図る。
- (5) 「環境デーなごや」を始め各種の環境イベント等に参加し、一般市民に対し啓発ビデオの上映やリーフレット配布、写真パネルの展示等により本会事業の周知を行うとともに、港湾及び河川の美化に対する意識高揚を図る。
- (6) 海洋環境保全推進月間及び名古屋みなと祭などのイベント期間において、名古屋港ガーデンふ頭やイベント会場周辺に本会の標語「港や川をきれいにしましょう」の横断幕を掲げ、来港者やイベント参加者に対し環境への意識高揚を図る。
- (7) 公益財団法人名古屋みなと振興財団が、令和2年5月より名古屋港水族館南館において開催している海洋環境に関する常設展「エコ・アクアリウム」に参加し、啓発ビデオの上映や回収したゴミ等の展示を行い、また今後、ポートビル海洋博物館において計画しているARを利用した環境に関する展示に参加し、両館来館者の海洋ゴミに対する意識の高揚とともに本会の活動や知名度の向上を図る。
- (8) 海を未来に引き継ぐ「CHANGE FOR THE BLUE」（愛知県事務局・テレビ愛知）に名古屋みなと振興財団と共に協力し、小学生を対象に出前授業などを行っていく。
- (9) 環境負荷軽減のため、回収したごみは不燃物及び可燃物に分別処理する。

令和3年度収支予算書

正味財産増減予算書

令和03年04月01日から 令和04年03月31日まで

(単位：円)

科 目	令和3年度 (予算)	令和2年度 (予算)	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
受取会費	6,282,000	6,273,000	9,000
受取負担金及び補助金等			
受取負担金及び補助金等	78,752,000	78,752,000	0
受取寄附金			
受取寄附金振替額	1,803,000	1,803,000	0
受託収益			
受託収益	28,400,000	26,850,000	1,550,000
雑収益			
雑収益	263,000	322,000	△59,000
経常収益計	115,500,000	114,000,000	1,500,000
(2) 経常費用			
事業費			
給与	23,224,000	22,905,000	319,000
手当	18,135,000	17,949,000	186,000
賃金	8,030,000	9,088,000	△1,058,000
厚生費	8,289,000	8,290,000	△1,000
退職給付費用	4,087,000	3,789,000	298,000
備消耗品費	304,000	304,000	0
旅費交通費	20,000	20,000	0
被服費	178,000	103,000	75,000
光熱水費	164,000	168,000	△4,000
燃料費	7,951,000	7,504,000	447,000
修繕費	12,377,000	12,708,000	△331,000
保険料	112,000	117,000	△5,000
使用料及び賃借料	69,000	81,000	△12,000
啓蒙宣伝費	1,844,000	1,844,000	0
手数料	59,000	34,000	25,000
委託料	5,913,000	4,996,000	917,000
公課費	63,000	63,000	0
雑費	0	0	0
減価償却費	12,000	496,000	△484,000
事業費計	90,831,000	90,459,000	372,000
管理費			
役員報酬	7,077,000	7,077,000	0
給与	8,218,000	8,186,000	32,000
手当	3,600,000	3,599,000	1,000
厚生費	3,196,000	3,146,000	50,000

退職給付費用	1,150,000	466,000	684,000
備消耗品費	94,000	94,000	0
旅費交通費	60,000	59,000	1,000
被服費	56,000	36,000	20,000
光熱水費	446,000	477,000	△31,000
燃料費	89,000	97,000	△8,000
食糧費	20,000	20,000	0
印刷製本費	249,000	259,000	△10,000
修繕費	89,000	89,000	0
保険料	127,000	130,000	△3,000
使用料及び賃借料	222,000	289,000	△67,000
通信運搬費	329,000	346,000	△17,000
手数料	119,000	123,000	△4,000
委託料	1,233,000	1,237,000	△4,000
負担金	114,000	114,000	0
会議費	256,000	257,000	△1,000
公課費	1,360,000	1,290,000	70,000
雑費	277,000	246,000	31,000
減価償却費	48,000	48,000	0
管理費計	28,429,000	27,685,000	744,000
経常費用計	119,260,000	118,144,000	1,116,000
当期経常増減額	△3,760,000	△4,144,000	384,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△3,760,000	△4,144,000	384,000
一般正味財産期首残高	9,700,000	9,600,000	100,000
一般正味財産期末残高	5,940,000	5,456,000	484,000
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	1,803,000	1,803,000	0
当期指定正味財産増減額	△1,803,000	△1,803,000	0
指定正味財産期首残高	2,803,000	1,803,000	1,000,000
指定正味財産期末残高	1,000,000	0	1,000,000
III 正味財産期末残高	6,940,000	5,456,000	1,484,000

